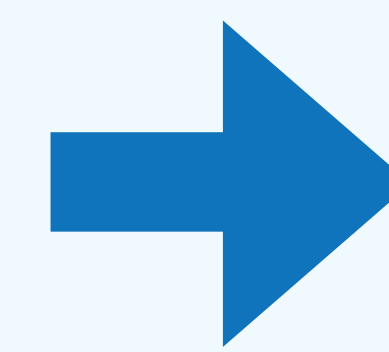


道路案内標識における整備計画「東京みちしるべ2020」の進捗状況について

東京都 建設局
(2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた
多言語対応協議会 道路分科会 事務局)

経緯

- 「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」の改正(平成26年4月1日)
- 多言語対応協議会において、道路分科会の取組方針を策定(平成26年11月26日)
- 道路標識適正化委員会東京都部会(国土交通省、東京都、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、首都高速道路(株))において、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた道路標識改善の取組方針」を作成(平成28年1月29日)

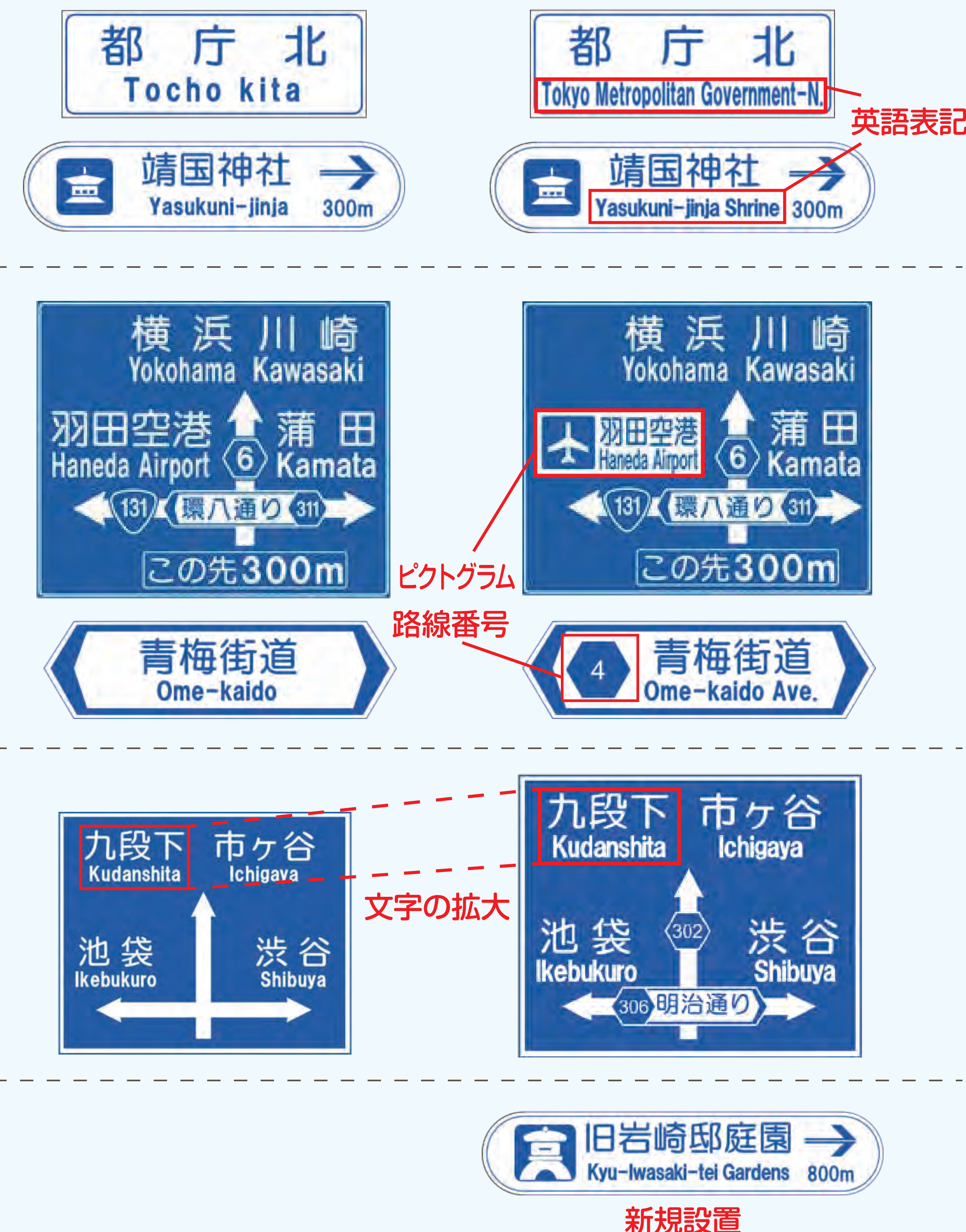


東京都建設局は、外国人を含めた全ての人にわかりやすい道路案内標識の整備に向け、「東京みちしるべ2020」を策定(平成28年1月29日)

「東京みちしるべ2020」の概要

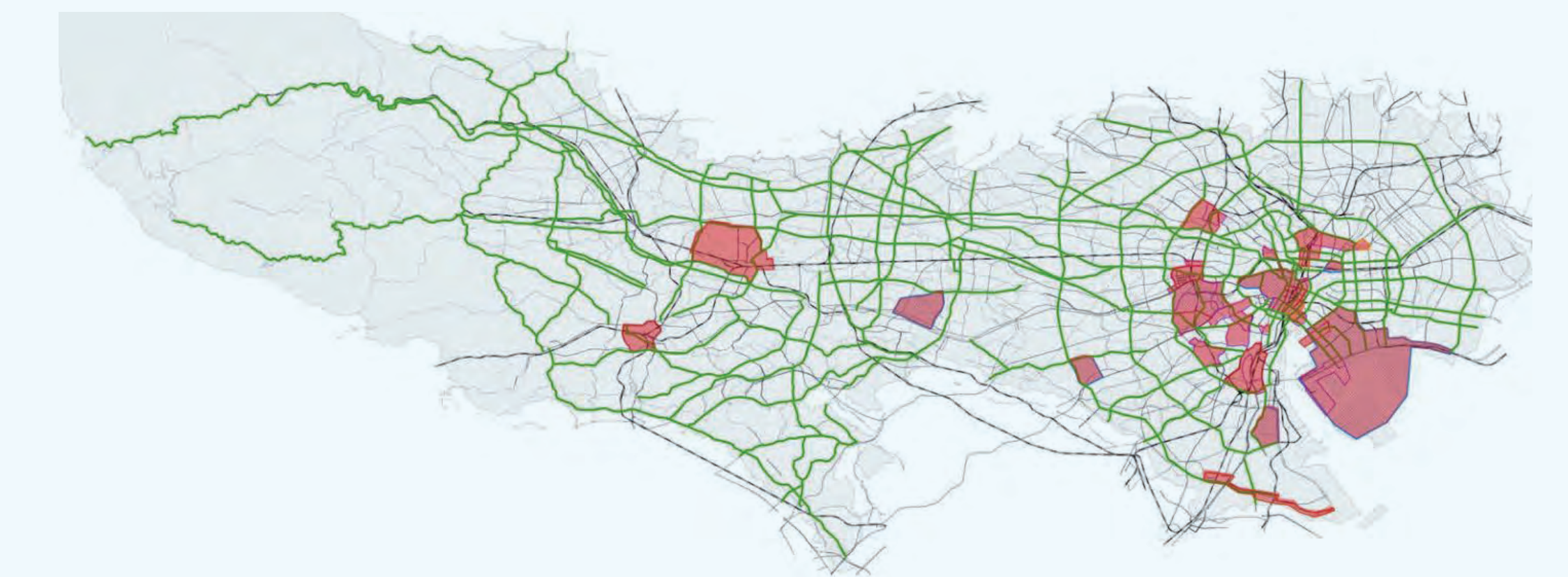
1. 整備内容

- 英語併記化の推進
対象箇所 全都道
- 表示情報の充実(ピクトグラム、路線番号の追加)
対象箇所 重点整備エリア
- 通称名表示の充実、視認性の向上
対象箇所 重点整備路線
※文字が拡大されていない場合は、文字サイズの拡大を実施
- 施設案内の充実 対象箇所 重点整備エリア



2. 重点整備エリア、重点整備路線

- 重点整備エリア
下記4つの指標に基づき選定したエリア(対象はエリア内の全都道)
 - ・オリンピック・パラリンピックエリア 競技会場等周辺
 - ・観光庁戦略拠点エリア 観光庁が指定した都内4つの戦略拠点
 - ・主要観光地エリア 外国人旅行者の訪問率の高い18地点(日本政府観光局調査)
 - ・交通結節点エリア 国際空港、客船ふ頭、主要ターミナル駅
- 重点整備路線
都市の骨格をなす車線数4車線以上の路線や多摩地域の主要地方道など



凡例

重点整備エリア
重点整備路線

この地図は、国土地理院長の承認(平成24関公第269号)を得て作成された東京都地形図(S=1:2,500)を使用(28都市基交第620号)して作成したものである。無断複製を禁ずる。

3. スケジュール

- 平成31年度までに約10,500枚整備予定
- 約3,500枚の整備を平成28年度末までに完了
- 平成29年度は、主要観光地「六本木・麻布」等において整備